



令和7年度 準師範・助教講習会 及び師範等資格取得講習会

第17号：

10月のイベント



ページ1～3

【糸東会ニュース】

令和7年度 準師範・助教講習会
及び師範等資格取得講習会



ページ4

【各地区協議会（県連）ニュース】

関西地区協議会技術講習会

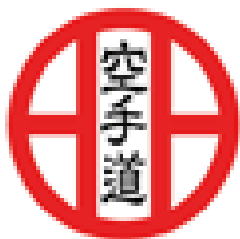


ページ5～8

【各地区協議会（県連）ニュース】

関東地区協議会主催

第32回空手道糸東会選手権大会



日	時	令和7年10月4・5日(土・日)
場	所	糸東会本部道場
講師・審査員	岩田源三	会長・一級資格審査員
	野澤幸洋	常任相談役・一級資格審査員
	山岡硯太郎	副会長・一級資格審査員
	有田 豊	副会長・一級資格審査員
	原口高司	相談役・一級資格審査員
	我妻 登	常任理事・一級資格審査員
委員等	樋川光司	技術本部副本部長
	鷺澤高志	技術本部事務長
	大木利夫	指導委員会委員
	手塚雄一	指導委員会委員
	沖重理津子	指導委員会委員
立会人	摩文仁賢雄宗家	

令和7年度、準師範・助教講習会、師範等資格取得講習会が10/4、5日に本部道場において、45名が参加し行われた。開講式で摩文仁宗家より「更新の方にとっては年に一度の貴重な講習会。新規の方は指導者の道に向けて頑張ってください」との激励の言葉をいただき、続いて岩田会長からは「糸東会の技術を次世代にしっかりと伝えていって下さい」との力強いメッセージをいただいた。

1日目は、新規受審者は師範と準師範グループを岩田先生、助教グループを有田先生と野澤先生に、資格更新者は原口先生、山岡先生、我妻先生にご指導頂いた。新規受審者のグループは1人ずつ、指定された形又は自分で選んだ形の指導の練習を行い、講師の先生からは、指導時の声の出し方や説明する時の体の向きなども含め、細かな指導があり「単に教本通りに順番を教えるだけではだめで、どのような意味を持つ技なのか、分解はどうなるのか、自分で工夫して説明できなければいけない」とのご指摘があった。資格更新者のグループは原口先生にセイサンを、山岡先生と我妻先生にシソーチンをご指導頂いた。立ち方、分解、体の使い方や技の意味まで丁寧なご説明があった。

2日目は、新規受審者のグループは指定された形を制限時間内で教える練習をした。師範、準師範受審のグループは有田先生に、助教受審のグループは岩田先生と野澤先生にご教授頂き、受講生同士でも意見を交換し合うなど積極的な姿勢が見られた。資格更新者のグループは、山岡先生と我妻先生によるパープーレンの形、そして法形組手の指導を受けた後、原口先生のご指導の下、セイサン、シソーチン、パープーレンを復習した。

閉講式では野澤先生より「皆さんとても熱心に受講されていました。結果にもしっかり出ています。今後も引き続き精進し、学んだことを次の世代に伝えて下さい」との温かいお言葉を頂いた。技術の向上はもちろん、指導者としての意識を高める大変実りある2日間であった。



参加者全員による集合写真



講習風景



講 習 風 景



関西地区協議会技術講習会

日 時 : 令和7年10月12日(日) 12:00～16:30
場 所 : 東大阪アリーナ武道場
講 師 : 宗家摩文仁賢雄先生・坂本清先生・山岡硯太郎先生
委 員 : 南聡朗事務局長
受講者 : 19名

10月25・26日開催師範等資格取得審査会、11月3日高段位審査会・称号審査会、11月16日関西地区4段位5段位審査会に向けての講習会が行われた。

開講式で、摩文仁宗家より本日参加頂いた皆さんは各支部での指導員で、来る各審査会では、決められた事をいかに把握しているか伝えているかそのための審査であります。本日疑問に感じたことは、質問をして審査会に臨んでください。関西地区協議会会長坂本先生は、三連休の真ん中の日にそれぞれご予約もあろうかと言った日に参加いただきありがとうございます。来るべき審査会に向けて全員が合格出来ますよう、本日は、練習ですから失敗を恐れずに、解らないことは、どんどん聞いて身に付けて帰ってください。と挨拶を頂き講習会は、始まった。

講習会は、3グループに分かれ4段5段受験予定者は、講師の先生の指導の前に委員指導の下模擬試験を行い、講師の先生に指導を頂いた。

講師の先生からは、師範等取得審査に臨む受講者には、当たり前の事をあえて再確認をして、今一度基本に立ち返り新鮮な目で指導をするように又、自身で形を見せて、させて、評価をし、指導者がリードして指導しているか？5分の持ち時間を無駄なく指導しているか？皆が共感を持てる指導を、と指導された。

段位取得者には、形の流れ、意味、分解を描きながら、形を打ち目線、緩急の指導がなされた。

称号は、各論文を持ち寄り講師の先生よりアドバイスを頂き、受講者同士で互いの論文を研究した。

講習会は、16時30分終了予定だったが、受講者の熱はヒートアップし15分延長して終了した。

閉講式では、山岡先生よりまだまだ練習不足が見受けられる、空手の練習は、日々の積み重ねである。10月25日26日の資格審査、11月3日の高段位称号審査、11月16日4段5段審査全員が合格できるようがんばってください。と講評を頂いた。

受講者は、互いの練習、技術研究が出来実りある講習会となった。



写真：講師摩文仁賢雄先生、講師坂本清先生、講師山岡硯太郎先生、委員1名、講習会受講者19名



第32回空手道糸東会関東選手権大会

日 時 : 令和7年10月26日(日) 9:00~17:00

場 所 : 横浜武道館

主 催 : 全日本空手道連盟糸東会関東地区協議会

参加者 : 503名 延べ人数: 728名

第32回空手道糸東会関東選手権大会が、神奈川県横浜市横浜武道館に1都7県から選抜された精鋭の選手が一堂に会し、盛大に開催された。



大会役員の方



大会審判長・副審判長の方



優勝旗返還(前年度総合優勝埼玉県)



優勝杯返還・岩田杯（前年度男子総合優勝埼玉県）・野澤杯（前年度女子総合優勝埼玉県）



選手宣誓（神奈川県糸東会の皆さん）

国歌斉唱（ソプラノ歌手：谷古宇ゆみ）



大会会場の様子



競技の様子（形・組手試合）



競技の様子（組手試合）



総合優勝・男子総合優勝（岩田杯）・女子総合優勝（野澤杯）：埼玉県